



株式会社ZUU
(東証グロース：4387)

株式会社経済界の株式取得（子会社化） に関する補足説明資料

金融×ITでイノベーションを
誰もが夢に向かって走ることができる世界を実現する

1. 株式会社経済界の第三者割当増資を引き受け。経済界の株式40.3%を取得。
2. 株式取得と同時に経済界取締役の過半数に当社メンバーを選任。積極的なPMIに取り組む。
3. 1、2により株式会社経済界は今期末から連結対象となる見込み。
4. 経済界が保有するブランド、経営者ネットワークを活用し、当社のフィンテック・トランザクション事業を中心に事業シナジーを創出。
5. 当社のデジタル・マーケティング、メディア運営のノウハウを活用し、経済界の新規会員獲得、広告事業等の業績向上を支援。

概要 経済界のグループ参画によるユーザー基盤のアセットを強化

ZUUグループの保有する3つのアセット「メディア・プラットフォームを中心とするユーザー基盤」、「金融ライセンス」、「金融プロフェッショナル」の強化につながるM&Aや出資等を積極的に推進。

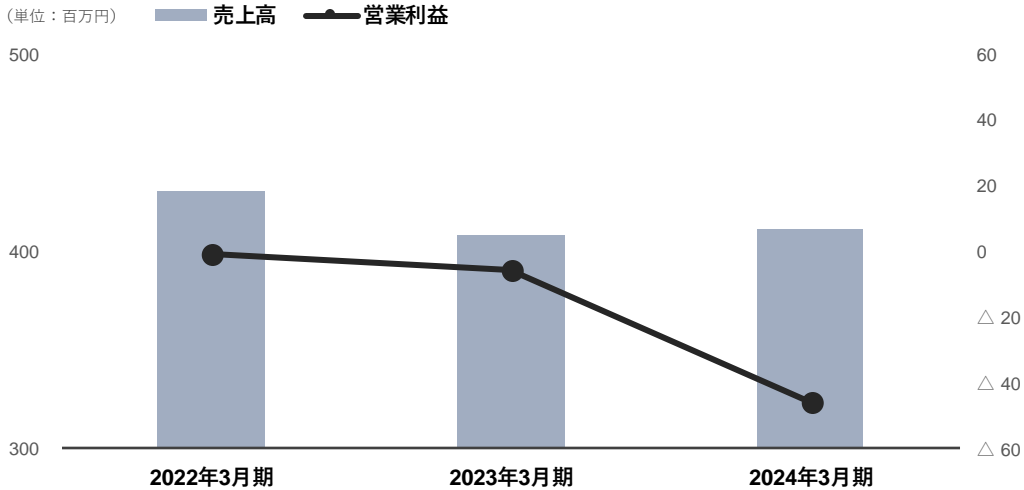
| M&A方針 | 主要投資対象領域 | 想定事業シナジー | 実績 |
|--|---|--|---------------|
| <p>主要投資対象</p> <p>事業シナジーの最大化を目指す観点から、マジョリティ投資による連結優先。</p> <p>投資規律</p> <p>当社が設定する以下投資方針に基づき、規律ある投資を実行。</p> <ul style="list-style-type: none"> EV/EVITDA倍率の基準値設定 黒字企業もしくは弊社戦略に合致する早期黒字化の蓋然性が高い企業 当社戦略のアセット強化に繋がり、事業シナジーが見込める <p>など</p> | <p>フィンテックサービス</p> | <ul style="list-style-type: none"> メディア・プラットフォームのユーザー向けに、さまざまな金融サービスを提供。 サービス拡大によるユーザーの利便性やメディア収益性を強化。 | |
| | <p>フィンテックメディア (Webメディア)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 他社メディアを取り組みメディア・プラットフォームのユーザー基盤を強化。 自社のノウハウを活用し、他領域のメディアを収益化。 | |
| | <p>ファイナンスプレイヤー (IFA・金融仲介業・金融機関など)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 新規金融ライセンスの獲得により、ユーザーに金融サービスを提供。 新規金融ライセンスと同時に、金融プロフェッショナル人材の獲得により、金融サービスの運営体制を強化。 | |
| | <p>その他</p> | <ul style="list-style-type: none"> JV設立による新領域での事業開発。 | <p>ZUUM-A</p> |

概要 経済界の株式取得（子会社化）の概要

本日、2025年3月19日付で雑誌『経済界』を発行する出版社、株式会社経済界の株式取得（子会社化）を発表。

対象会社概要

- 会社名 株式会社経済界
- 所在地 東京都千代田区永田町2-4-11
- 代表者 佐藤 有美
- 事業内容 雑誌・書籍の発行、広告代理、イベントの企画運営等
- 設立 1964年4月



M&A概要

| | |
|-------|----------------------------|
| 概要 | 株式会社経済界の増資引受 |
| スキーム | 第三者割当増資による株式取得 |
| 資金 | 自己資金 |
| 割当予定日 | 2025年3月24日 |
| 連結予定日 | 2025年3月末に連結予定 (BSのみの影響を想定) |
| 取得対価 | 33百万円 |

概要 経済界の株式取得（子会社化）の概要

株式会社経済界の第三者割当増資を引き受け、40.3%の株式を取得。同時に、役員の大半数に当社メンバーを選任することでPMI体制を強化。株式会社経済界の業績向上及び双方の事業シナジーの創出に取り組む。



概要 本件による業績影響及び業績向上取り組みの概要

コスト構造の見直しはもちろん、当社ノウハウを活用した新規施策、事業シナジーの創出により、経済界の早期業績改善に取り組む。2027年3月期からの黒字化・業績拡大を目指し、PMI等を推進する予定。

経済界の業績予想

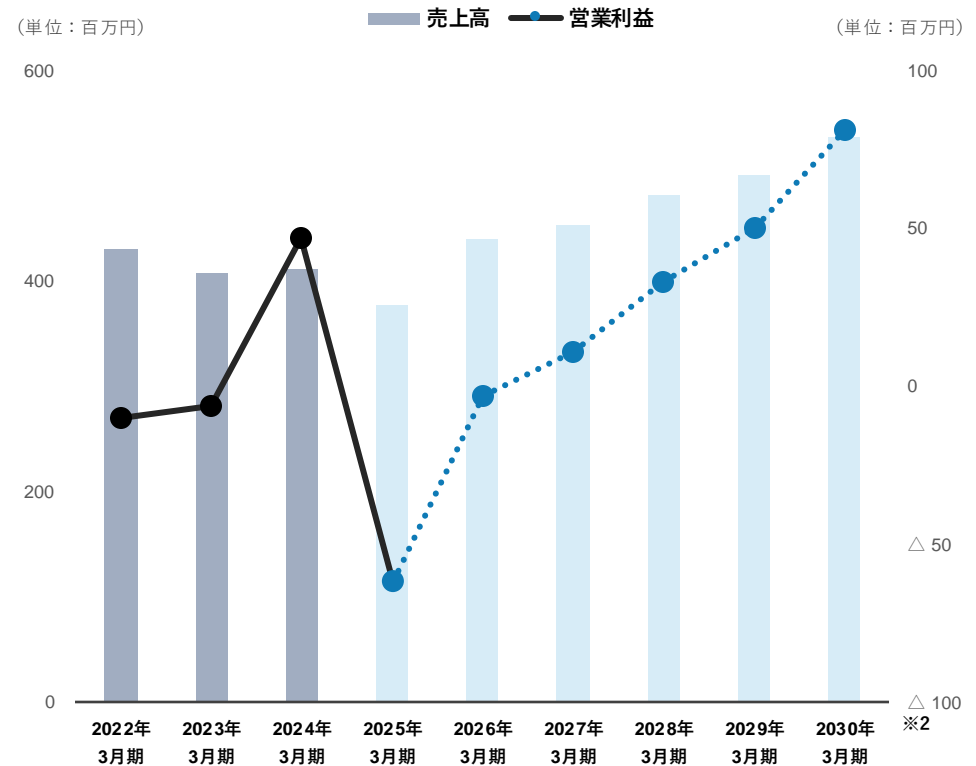
■ 今期の業績影響 2025年3月期の通期決算から連結対象となる見込みだが、PL影響はなく、BSのみ影響。

■ 来期以降の業績影響 2026年3月期は赤字幅は削減するも、やや赤字となる見込み。一方で業績改善・成長に向けた事業連携等を推進し、2027年3月期からの黒字化を目指す。

■ 業績向上に向けた取り組み

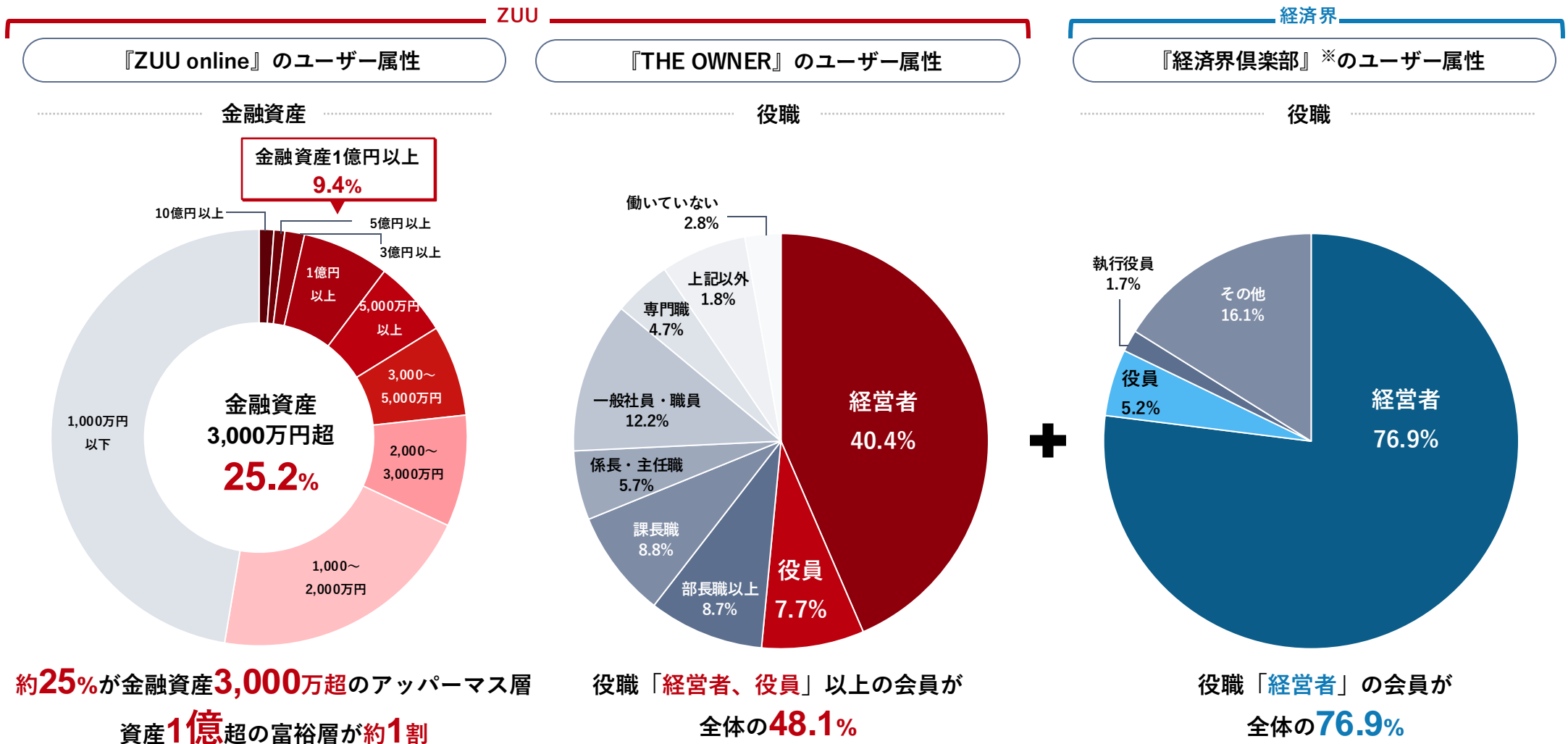


■ 経済界の業績推移予想



連携 経済界との主な事業シナジー①：会員基盤の強化

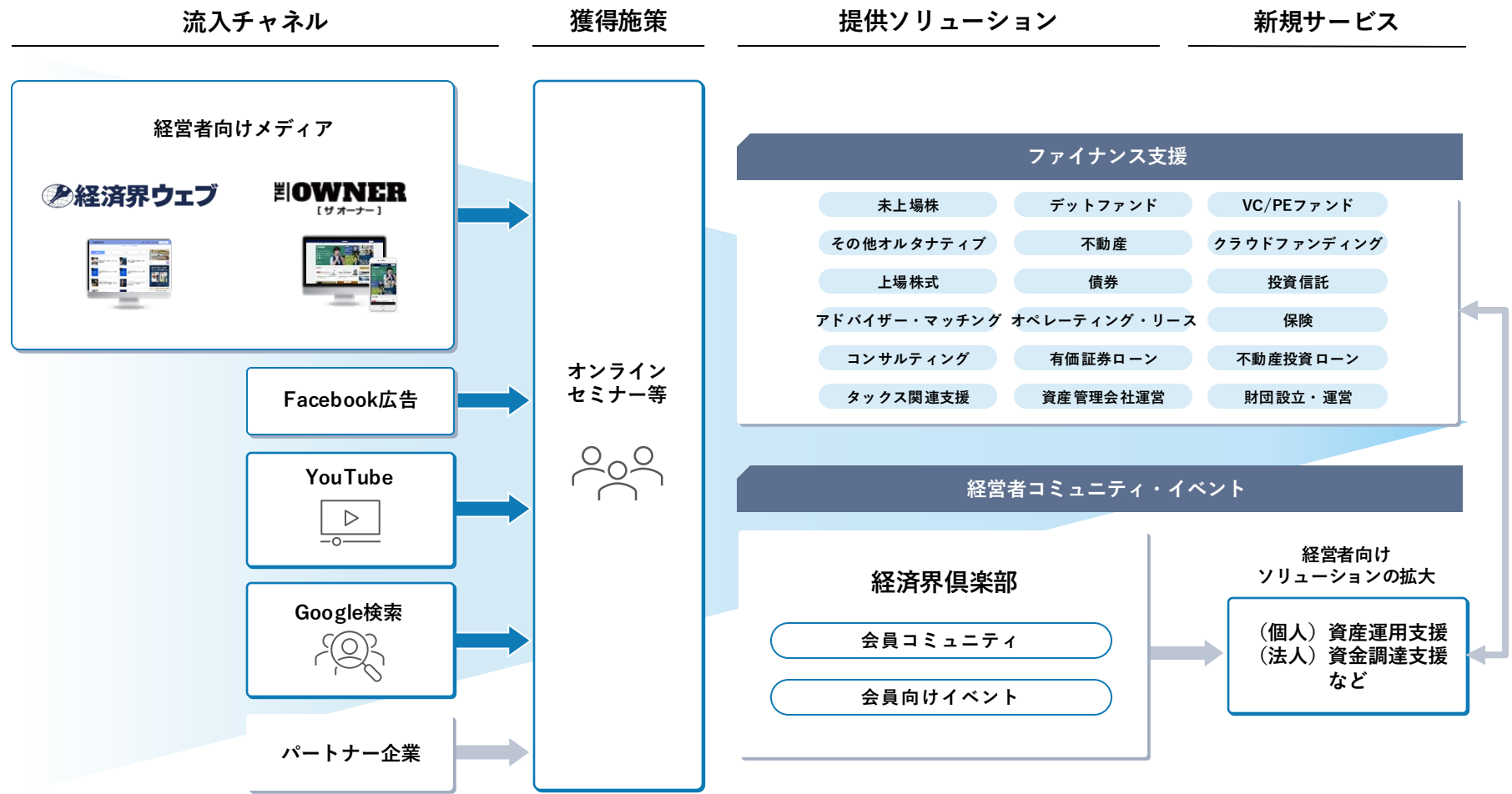
当社のメディアプラットフォームを中心とする富裕層・経営者基盤に、経営者向け異業種交流会『経済界倶楽部』を中心に全国1,000名以上の経営者会員を保有する経済界の経営者基盤がグループ参画。双方向での会員獲得の強化により、強固な事業基盤を構築。



※ 経済界が保有する会員組織『経営者倶楽部』のユーザー属性

連携 経済界との主な事業シナジー②：新規会員獲得の効率化

当社のメディア運営のノウハウ及び会員獲得（リード獲得）のマーケティング、インサイドセールスのノウハウから、「経済界ウェブ」を活用した会員獲得を両社にて仕組化。双方での事業連携を行うことで、新規会員獲得を効率化。

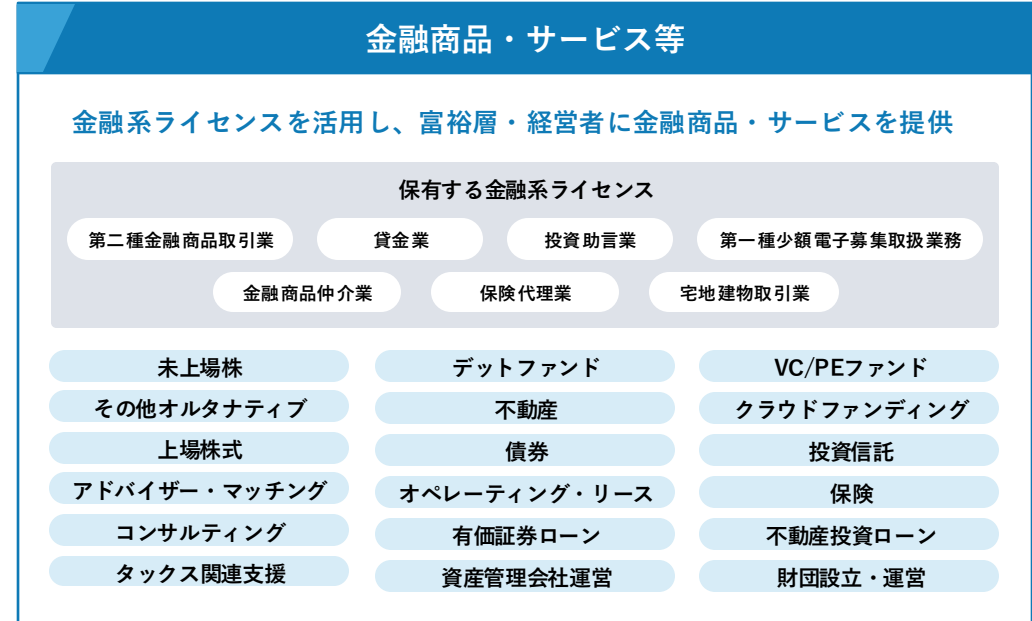


連携 経済界との主な事業シナジー③：事業連携によるサービス・ラインアップを拡充

当社が提供するデジタル・マーケティング支援、金融サービスと経済界の事業との連携により、両社のサービスラインアップを拡充。双方会員や顧客に対しての提供サービスを拡充。



- 当社顧客のデジタル・マーケティングの一環として**経済界の広告商品等を拡販**。
- 経済界の顧客ネットワークから当社の**デジタル・マーケティング支援のニーズ把握・提案活動**を連携。



- 当社の金融事業、コンサルティング事業の**顧客・投資家ネットワークから経済界倶楽部の会員を獲得**。
- 経済界倶楽部の会員、**経済界の経営者ネットワークから資金調達支援、資産運用支援等のニーズを取得・提案の連携**。

Appendix : ZUU会社概要

■ 社名 株式会社ZUU (ZUU Co.,Ltd.)

■ 住所 東京都目黒区青葉台3-1-19 青葉台石橋ビル8F

■ 代表者 代表取締役 富田 和成

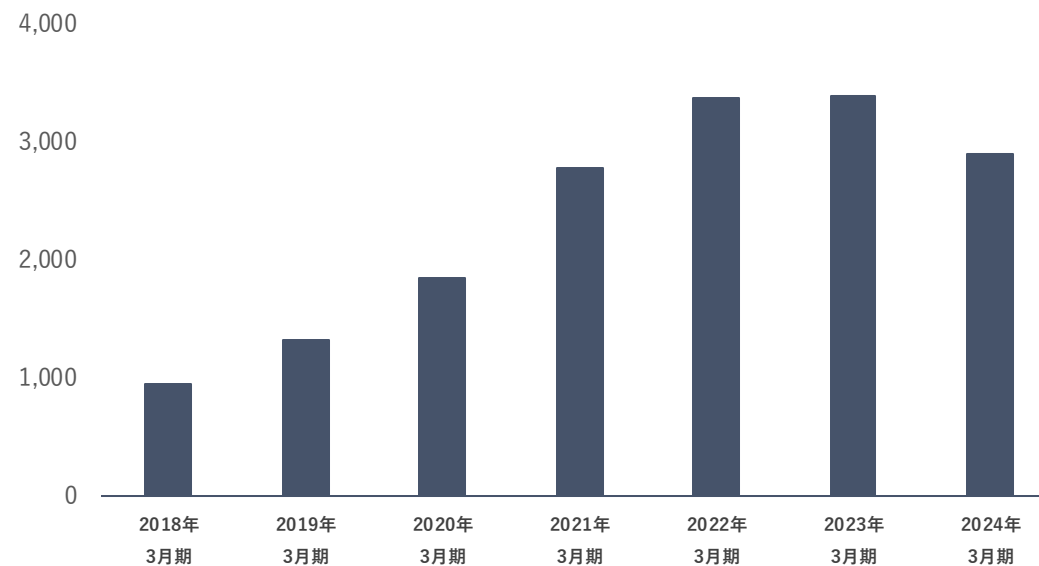
■ 設立 2013年4月2日

■ 従業員数 193名 (2024年3月末時点)

■ 事業内容
(子会社含む)

- ・ アッパーマス～富裕層向けメディア・プラットフォームの運営
- ・ 金融機関向けDX支援
- ・ SMB向け組織マネジメントSaaS・コンサルティングの提供
- ・ 各種クラウドファンディング・サービスの運営
- ・ その他

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| | | | | | | | |
|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 944 | 1,317 | 1,847 | 2,789 | 3,376 | 3,399 | 2,899 |
| 営業利益 | 71 | 182 | △106 | 14 | △244 | 210 | 115 |
| 純利益 | 44 | 107 | △92 | △300 | △230 | 90 | △45 |
| 総資産 | 725 | 1,238 | 1,354 | 2,054 | 2,006 | 3,065 | 9,329 |
| 自己資本比率 | 78% | 80% | 62% | 63% | 55% | 41% | 13% |

PURPOSE

機会格差を解消し、 持続的に挑戦できる世界へ

挑戦を加速させる資本へのアクセシビリティを自由に解放し、
世の中に存在する様々な機会の格差を解消する。

そして、90億人が自分の夢や人の夢に熱狂し、心から応援し合いながら、
ともに挑戦を楽しみ続けている世界を実現する。

ESG マテリアリティとSDGsの関係

マテリアリティの解決に取り組み、SDGsに関連した社会課題を積極的に解決すべく経営を推進。



フィンテック・プラットフォーム

メディアを軸に資産運用・投資に興味関心のあるユーザーを獲得。
広告・マーケティング支援を展開

- 祖業である日本最大級の金融メディア『ZUU online』のブランド力、ユーザー基盤を強みに、『NET MONEY』など複数メディアによる月間訪問者数延1500万を超えるメディア・プラットフォームの基盤を構築。（メディア事業）
- 2024年1月からメディア事業の一部である『NET MONEY』を中心とする送客メディア事業を分割し、3社による合併会社化。持分法適用会社として運営を開始。
- 『ZUU online』を支えるCMSをSaaSとしてエンタープライズ中心に提供し、大手金融機関クラスの要求を満たす「セキュアなCMS」を金融業界・不動産業界へ提供し、DXを支援。（金融・不動産DX支援事業）

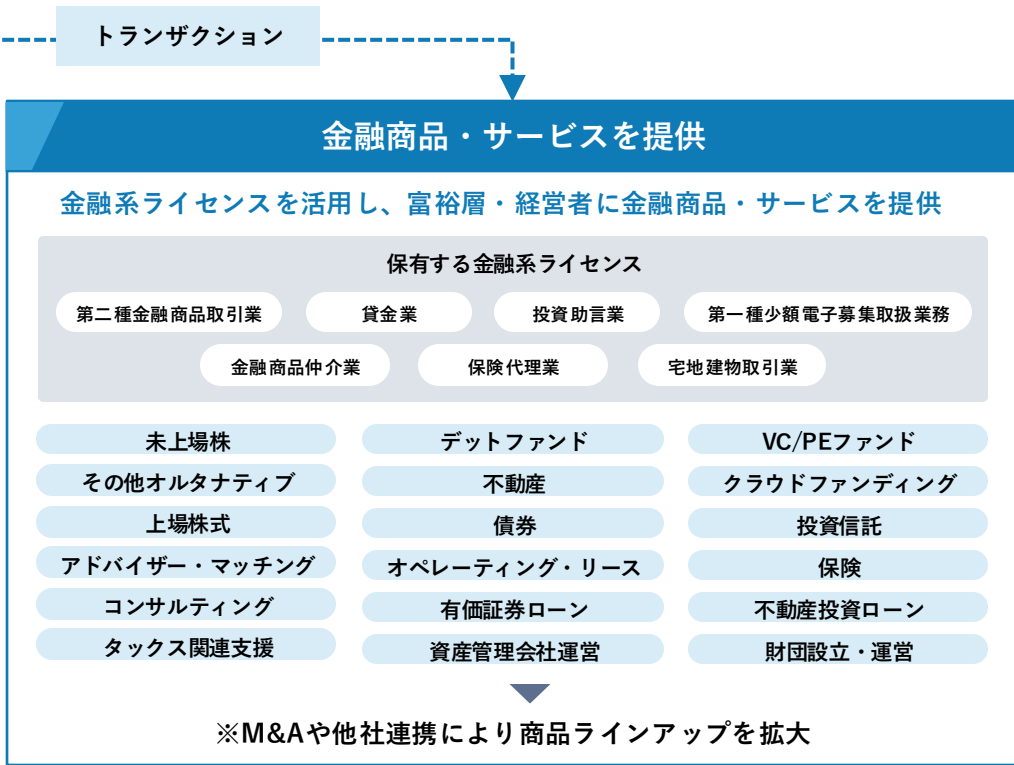
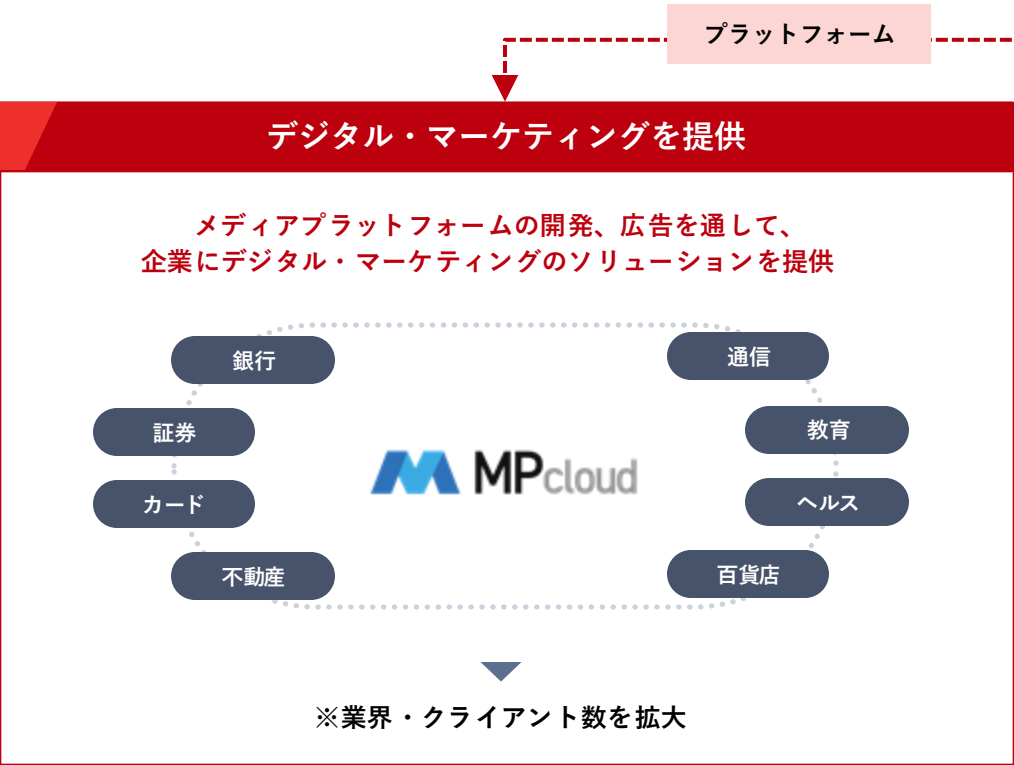
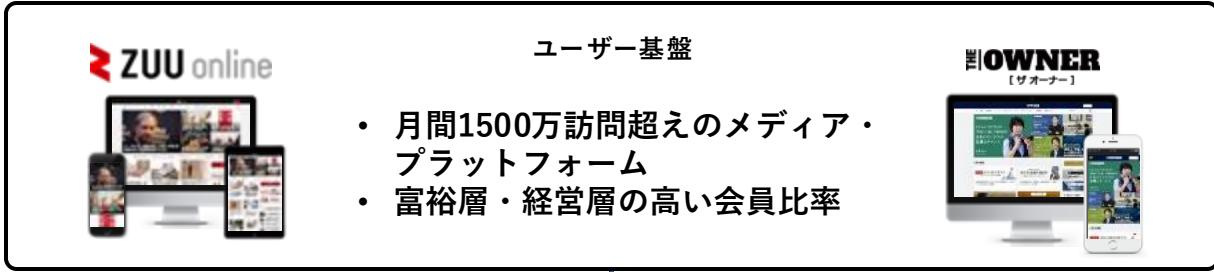
フィンテック・トランザクション

金融商品のプラットフォームとして、
様々な金融機関とのネットワークを構築。
顧客に最適な金融商品を紹介・アドバイス

- 金融ライセンスを自社で保有し、顧客の窓口的存在として資産運用を直接支援。また、様々な金融商品へのアクセシビリティを向上し、プラットフォームとしてユーザーに最適な金融商品を紹介。（金融事業）
- “鬼速”ブランドを武器に、経営やファイナンス領域のコンサルティングをSME企業の経営者向けに提供。（コンサルティング事業）
- 富裕層・経営者の顧客基盤、豊富な商品ラインアップ数、金融プロフェッショナル・アドバイザー数、テクノロジー・データ利活用によるDXの4つを最高水準で保有することが競争優位性。

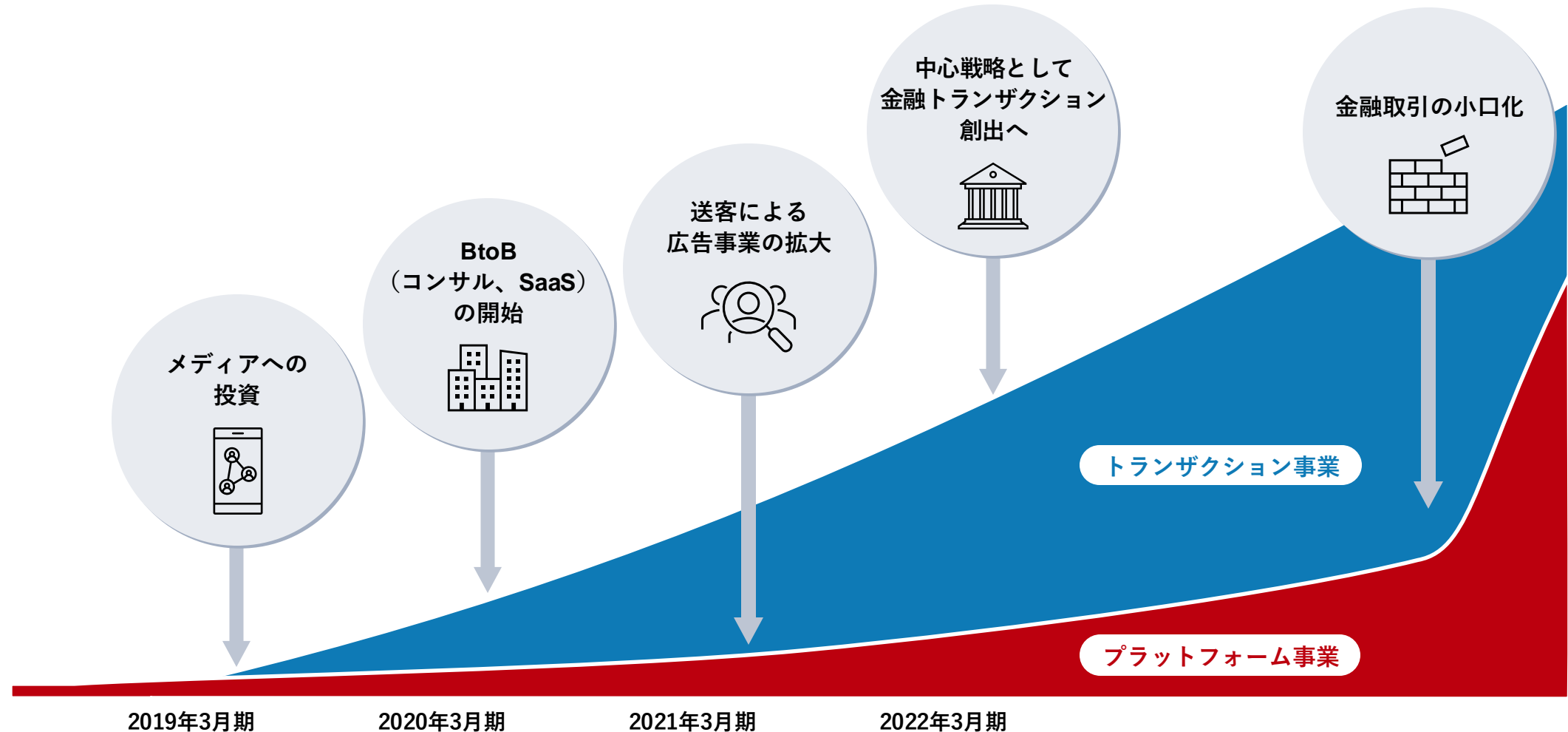
戦略 ZUUのフィンテック・ビジネス

富裕層・経営者層の割合が高く、背景資産のあるユーザー基盤を保有することで預かり資産額が拡大。
また、商品ラインアップ数でも国内最大級であり、さまざまな企業から最適な金融商品を引き合わせる事が可能。



概要 中長期の成長イメージ

プラットフォーム事業の広告・送客中心で積み上げた利益を、中長期の柱となるトランザクション事業（金融領域）へ投資。トランザクション事業の大口の金融取引が、中長期ではプラットフォーム事業と連携し、小口化して2事業ともに拡大。国内外最高レベルの資産運用・管理に関する商品・サービスを集める日本有数のフィンテック・プラットフォームの構築へ。



本資料の取り扱いについて

本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。今後、様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。